

主催／北の国災害サポートチーム

被災者支援の多様な視点を学ぶ きたサポ研修会

オンライン開催
(Zoom)

日本では毎年のように全国各地で地震や豪雨等による災害が発生しています。災害発生時には、応急対応期から復興期にかけて、衣食住にまつわる環境整備や再建、コミュニティの再構築をはじめとし、保健医療、福祉、生業に関することなどさまざまな分野において支援が必要とされます。特に災害の種類や被害を受けた地域の地形等の特性に応じた被災者支援を展開するためには、行政や社会福祉協議会、NPOや企業等の機関の分野横断的な連携が求められています。

本研修では、各専門分野で活動する組織・団体をゲストに迎え、災害発生時の対応や平時の活動について取り上げます。多様な支援機関とその活動について理解し、各機関の強みを生かしたスムーズな支援体制の構築ができることを目指します。

第22回

【テーマ】災害に対する建築士の役割～災害後の対応と防災
2025年7月23日(水) 13:30～15:30

第23回

【テーマ】災害支援におけるファイナンシャルプランナーの役割
2025年7月30日(水) 10:00～12:00



参加対象

- 企業・企業組合・労働組合に所属する方
- NPO・協同組合・ボランティア団体に所属する方
- 行政・社会福祉協議会職員、災害時の支援活動に関心のある方
- 建築士やファイナンシャルプランナーを含む専門士業の方



申込方法 【申込締切】各回5日前の17時まで

右記の二次元バーコードにアクセス(Peatix)し、お申込の上、チケットをご購入ください。お申し込みが難しい場合は、メール(info@kitasapo.net宛)にてご連絡ください。別途お振込み先等をご案内いたします。

※原則として、1アカウントでご参加いただけるのは1名のみです。同じご所属から複数でご参加いただく場合も、参加される方全員が個別にお申込をお願いいたします。



参加費

1,000円／各回(会員・非会員ともに)
※大学生(学部まで)：無料

各回定員

100名



後援
(予定)

北海道・札幌市・社会福祉法人北海道社会福祉協議会
認定NPO法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク(JVOAD)・協同組合ネット北海道

第22回

【テーマ】災害に対する建築士の役割～災害後の対応と防災 2025年7月23日(水) 13:30～15:30

災害時には住家の損傷により生活の拠点を失う方や生活再建に向けて住家の片付け、修繕等を余儀なくされる方がほとんどです。建築士による災害発生直後からの制度的な取組みと住家再建に向けた相談支援から被災者支援の実践を学びます。

講師

小町 美穂 氏

一般社団法人 北海道建築士会
札幌支部 事務局長

小倉 雅美 氏

一般社団法人 北海道建築士会
札幌支部 まちづくり委員

- 震災直後からの建築物にまつわる動き（応急危険度判定・リ災証明・被災度区分判定）
- 北海道と本州の建築物の違いと被災した建物にかかわる災害ボランティアの注意点
- 災害の種別（地震、水害、噴火）ごとの建築的な観点での注意点
- 災害後の生活再建に向けた建築相談のいろいろ



第23回

【テーマ】災害支援におけるファイナンシャルプランナーの役割 2025年7月30日(水) 10:00～12:00

被災者の多様なニーズに対応するために様々な分野・業種との関係構築、目線合わせをしながら、どのように支援活動をしてきたのか。平成30年7月豪雨災害におけるファイナンシャルプランナーによる災害ケースマネジメントの実践を学びます。

講師

佐藤 香名 氏

ファイナンシャルプランナー
2024 年度金融知識普及功績者

- 被災者支援にファイナンシャルプランナーがどの様に関わっているのか
- ファイナンシャルプランナーの初動活動から生活再建支援までの動き
- 社会福祉協議会や行政、災害中間支援組織との連携
- 平時における災害に備えたファイナンシャルプランナーの活動

